

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	原信 白根店
建設地	新潟県新潟市南区戸頭1391-4 外
用途地域	近隣商業地域
建物用途	物販店
竣工年	2023年11月 予定
敷地面積	9,467.26 m ²
建築面積	3,495.07 m ²
延床面積	3,302.35 m ²
階数	地上1F
構造	S造
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2023年2月25日



2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{48.3}{25.9} = 1.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	4.2		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 4.0
			維持管理	Q2.1.3 5.0
			設備の更新性	Q2.3.3 3.6
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.7		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.7		節水	LR2.1.1 4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 5.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	原信 白根店	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市南区戸頭1391-4 外	構造	S造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,475 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2023年2月25日
敷地面積	9,467 m ²	作成者	今井 浩明
建築面積	3,495 m ²	確認日	2023年2月25日
延床面積	3,302 m ²	確認者	今井 浩明



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 27%
③上記+②以外の 24%
④上記+ 24%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.9

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>照明は各室毎に制御可能。全体禁煙。内装はインテリア計画が十分されている。維持管理は取り扱いマニュアルを策定している。階高5.62m、壁長さ比率0.07としている。配線は天井スペースを確保し、仕上げ材を傷めることなく更新可能。BELm=0.18。グリーン調達品目(売場など仕上)、Eマ(消火器、リフト-床仕上げ)。内装材と設備が容易に分解できる。オール電化。燃焼機器なし。交通付加抑制は取り組み項目による。照明の光害は取り組み項目による。</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>個別制御インバーターエアコン。各室毎に制御可能。F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用。全体禁煙。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>バリアフリー法の誘導基準を満たしている。売場天井高3.6m以上(平均)。インテリア計画が十分されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.3.1②取扱いマニュアルを策定している。 ・1.3.2③同上。 <p>塩ビタイル20年。屋外ダクトステンレス仕様。階高5.62m。壁長さ比率0.07。天井スペースを確保し、仕上げ材を傷めることなく更新可能。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPlm=0.81。BEIm=0.18。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水コマ、節水型便器の使用。グリーン調達品目(売場など仕上)、Eマ(消火器、リフト-床仕上げ)。内装材と設備が容易に分解できる。有害物質を含まない評価対象とする建材種別による。粉末消火器の使用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>オール電化。燃焼機器なし。交通付加抑制は取り組み項目による。照明の光害は取り組み項目による。ガラス面は庇により奥まった位置に設置している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される